



チームワークで安全をつなぐ
ソラのナビゲーター

航空管制官

航空管制官採用試験
(専門職：大学卒業程度)

→ 主な仕事の内容

飛行場管制業務



空港にある管制塔から目視で航空機を捉え、離着陸の許可、飛行場面の走行経路の指示等を出します。

空港を中心に約9km圏内の空域を担当します。

ターミナル・レーダー管制業務



レーダーで航空機を捉え、離着陸する航空機に針路や高度等を指示し、安全な間隔を保ちながら誘導します。

空港から約100km圏内の空域を担当します。

航空路管制業務



レーダーで航空機を捉え、主に巡航中の航空機に指示や許可を与えます。

日本の空港を離着陸する航空機のみならず、外国から外国への通過機にも同様に管制業務を提供します。

→ 採用後の処遇

採用後、航空保安大学校で航空管制に関する基礎知識と技能を習得するための研修を行います。研修が始まる時から国家公務員として給与や賞与、共済組合（健康保険）の対象となり、有給休暇も付与されます。

研修終了後、全国各地の空港や航空交通管制部に配属され、現場訓練を受けた後、航空管制官の業務に従事します。

職場は交替制勤務で、異動は全国の空港や航空官署が対象となります（全国転勤）。

→ 先輩からのメッセージ



飛行場管制業務及びターミナル・レーダー管制業務に従事しています。パイロットだけでなく管制官同士のコミュニケーションも大切にしています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

2019年度採用
広島空港事務所 勤務



飛行場管制業務に従事しています。風通しがよい職場で、チームで協力して航空機の安全運航を支えています。航空管制官という仕事に興味を持ってもらえるのが嬉しいです。

2021年度採用
松山空港事務所 勤務

航空管制官公式ホームページにもっと詳しく掲載しています！



航空管制官 公式

検索

